

愛川町教育委員会

平成29年1月23日

愛川町教育委員会 1 月定例会会議録

- 1 会議日程 平成29年1月23日（月）
午前9時00分から午前9時34分
- 2 会議場所 愛川町役場 2階 201会議室
- 3 議事日程 日程第1 前回会議録の承認について
日程第2 教育長報告事項について
（1）教育長報告事項
日程第3 協議事項
（1）卒業式・入学式「教育委員会のことば」について
（2）平成29年立志式について
日程第4 その他
（1）東日本大震災に係る児童・生徒のいじめ問題の実態等について
（2）かながわ駅伝競走大会について
- 4 出席委員 教育長 佐藤 照 明
教育委員（教育長職務代理者） 平 田 明 美
教育委員 榮 利 隆 一
教育委員 梅 澤 秋 久
教育委員 大 貫 洋
- 5 出席職員 教育総務課長 山 田 正 文
指導室長兼教育開発センター所長 佐 野 昌 美
生涯学習課長 片 岡 由 美
スポーツ・文化振興課長 松 川 清 一
教育総務課副主幹 馬 場 貴 宏

◎開会

○（佐藤教育長） 皆さん、おはようございます。

本日の出席委員は5人であります。定足数に達しておりますので、愛川町教育委員会1月定例会は成立いたしました。

よって、これより開会いたします。

本日の議事日程はお手元に配付のとおりでありますから、ご承知願います。

これより日程に入ります。

◎日程第1

○（佐藤教育長） 初めに、日程第1、前回会議録の承認についてを議題といたします。

12月定例会分でございますが、会議録につきましては既に配付のとおりであります。

これより質疑に入ります。

ご意見、ご質疑ありましたらお願いいたします。

（発言する者なし）

○（佐藤教育長） ないようですので、質疑を終結して表決に入ります。

日程第1、前回会議録の承認について、原案のとおり承認することに異議ございませんか。

（「異議なし」との声あり）

○（佐藤教育長） ご異議ないものと認めます。

よって、日程第1の前回会議録の承認については、原案のとおり承認されました。

なお、定例会終了後に会議録署名原本をお回しいたしますので、委員の方は署名をお願いします。

◎日程第2

○（佐藤教育長） 次に、日程第2、教育長報告事項についてを議題といたします。

それでは、教育長報告について、資料1に基づき報告をいたします。

平成28年12月26日から平成29年1月22日までの間に出席した主な会議について、下記のとおり報告をいたします。

12月28日は仕事納め式ということで、副主幹以上が集まって、この4階で納め式を行いました。

29年1月4日、仕事始め式、これは、毎年文化会館で行っております。行政経営会議。

7日、町の消防出初式。8日が、委員の皆様にも参加していただきましたが、町の一周駅

伝競走大会、午後が成人式ということです。

10日、政策調整会議。夕方から、青年会議所の賀詞交歓会に参加いたしました。

12日、町の臨時議会、そして全員協議会がございました。全員協議会の中で、教育委員会の点検評価を議員の皆様にご説明させていただきました。町の商工団体新春講演会、賀詞交換会がございました。

13日、臨時の県・市町村の教育委員会教育長会議がございまして、後ほどまたお話があるかもしれませんが、横浜市のいじめの問題についてのお話がございました。

14日が福祉団体賀詞交歓会。15日が第6回の町の柔道大会ということで、神奈川県以外にも、遠いところは京都とか愛知県とかありましたけれども、東京圏関東一円の柔道クラブの方々が来て大会に参加していました。

16日が行政経営会議。19日が町村教育長宿泊研究会。21日が、町の体育協会の賀詞交歓会、国際ソロプチミスト愛川の認証20周年記念式典。昨日が町の青少年健全育成大会ということで、特に細野区と二井坂区の発表がございまして、2部では講演会で、県警の卯野さんからサイバー犯罪等の関係のお話をしていただきまして、大変有意義な講演会がございました。

簡単ですが、以上でございます。

それでは、質疑に入ります。

何かご意見、ご質疑等がございましたらお願いいたします。

(発言する者なし)

○(佐藤教育長) よろしいでしょうか。

それでは、質疑ありませんので、日程第2、教育長報告事項についてはご了承願います。

◎日程第3

○(佐藤教育長) 次に、日程第3、協議事項についてを議題といたします。

初めに、卒業式・入学式「教育委員会のことば」についての説明をお願いします。

指導室長。

○(佐野指導室長兼教育開発センター所長) 指導室長です。

それでは、資料2をごらんいただきたいと思います。

まず、1枚目は教育委員会のことばということで、小学校卒業生向けの挨拶文でございます。これは、しおりにとじるものでございます。裏面が、同様に中学校卒業式用の卒業生に向けた言葉でございます。

3 ページ目につきましては、新年度を迎えまして、小学校の入学式に向けた言葉でございます。裏面が、中学校入学式に向けた言葉でございます。

内容につきましては、例年と同じ内容になっております。若干、文字の間隔を詰める関係で、1 ページ目の句点を1 個削除して、体裁を整えたという変更点がございますが、内容につきましては全く同じでございます。

以上、この形で各学校に、よろしければ送付をさせていただき、しおりにとじ込むという形でそれぞれの式を迎えたいと思います。

以上、ご検討よろしく申し上げます。

○（佐藤教育長） それでは、質疑に入ります。

ご質疑、ご意見等がありましたら、お願いいたします。

大貫委員。

○（大貫委員） 例年どおりということでもいいのかもしれませんが、1 枚目ですけれども、小学校を卒業して中学校に入るところの中段から下のほう、「中学校とはどんな所だろうか」と期待と不安、この期待と不安って必ず挨拶の中でも使ってしまう言葉なんですけれども、期待はいいんですけれども、不安もあるのかというのを、教育委員会の立場から不安もあるんだぞという文言を入れて、果たしていいのかなっていうふうに、すらすらと読んでしまうから思うんですけども、不安は確かにあるんですね。だから、厳しい現実を突きつけるんだから、この言葉を残しておいていいとも思うんですけども、不安もあるのかと、不安に思ってしまう子もいるかもしれないんで。

特に皆さんが気にならなければいいんですけれども、私はここのところを、期待と不安を、「いろいろな思いが」というふうに変えてしまえば、うまく表現がソフトになるのかなと、読んでいて思ったんですけども。その1 点です。

ただし、どうしてもこれを変えてもらいたいという意味じゃないので、そういう気持ちがありますよという。

○（佐藤教育長） ほかにいかがですか。

今の件についてはいかがですか。

○（佐野指導室長兼教育開発センター所長） 皆さんがそういったご意見であれば、特段入れかえても問題はないと思いますので、そのようにさせていただこうかと思います。

○（佐藤教育長） どうですか、ほかの委員さん。

○（平田委員） よろしいですか。

○（佐藤教育長） はい。

○（平田委員） ちょっと内容が変わってしまうかもしれないんですけども、今、うちの教室のほうに小学校、これから6年になる子供もおります。その子が、上級生になるのが不安なんだということを書いたんですよね。だけど、不安なんかないよ、大丈夫だよ、今までどおりで、6年生頑張ればいいんだからというような、今の式典の内容とはちょっと違うかもしれないけれども、現状としては、そういう子どもが不安という言葉を実際に使っています。

ですから、大人のほうで、そんなことないんだよ、不安はあるのはあるかもしれないけれども、今までどおりやればいいんだよというような、返してあげるというのかな、そういうのは会話の中ではできているんですけども、実際に今大貫さんがおっしゃったとおり、ここに活字になってしまうと、おっしゃっている内容はわかるんですけども、そこまでやはり気を使ったほうがよろしいのでしょうか。ちょっとその辺は、私もはっきりしませんですけども。逆に、今までずっとこの言葉で来ていると思うのでね。

○（佐藤教育長） 榮利委員さん、いかがですか。

○（榮利委員） 私はどっちでもいいと思うんですけども、いろんな人を見るので、やっぱり現状のことを考えると、入れておいたほうがいいかなという気はします。

○（佐藤教育長） 梅澤委員さん、いかがですか。

○（梅澤委員） ネガティブを入れるかどうかという話で、積極的に入れる必要はないと私も思います。もし入れないとするならば、「入り混じっている」が、やっぱりネガティブもあるのねっていう続きになってしまいますので、例えば、「いろいろな思い」という言葉に置きかえるのであるならば、中学校とはどんなところだろうかと、「いろいろな思いを抱いていることと思います」といった形で、「入り混じっている」も消してしまったほうが、マイナス要因がさらに消えるかなとは思っています。

マイナスの思いというのは、誰もが抱いているものであって、それを否定するものではないと思うんです。でも、大貫委員がおっしゃるとおり、あえてそれを誘発する必要もないかなと、私は思います。不安を誘発する必要はないかなとも思います。

以上です。

○（佐藤教育長） 事務局、いかがですか、今のご意見は。

○（佐野指導室長兼教育開発センター所長） 難しいですね。

○（佐藤教育長） そうすると、このまま残すか、それとも、不安をとってしまって、いろいろな思いを抱いていると思いますが、本当にネガティブなものをとってしまう、どちらかと

いう感じということですよ。

○（大貫委員） 残してもいいんだけどね。

では、残しましょう。言い出した人がもとに戻しちゃ失礼だけれども。

○（佐藤教育長） では、大貫委員さんが、でも、ネガティブな表現というのはあえて要るかどうかというのは、これからもいろんな言葉の中であると思いますので、また、指導室長、こういう文書をつくるときに、その辺も加味しながら検討してみてください。

○（佐野指導室長兼教育開発センター所長） はい、承知しました。

○（佐藤教育長） 今回はこのとおりで、原案どおりで進めさせていただきます。

○（佐野指導室長兼教育開発センター所長） ありがとうございます。

○（佐藤教育長） ほかにございますか。

（発言する者なし）

○（佐藤教育長） よろしいでしょうか。

ほかにありませんので、卒業式・入学式「教育委員会のことば」については、これでおしまいです。

次に、平成29年立志式についての説明をお願いします。

生涯学習課長。

○（片岡生涯学習課長） それでは、平成29年立志式についてご説明申し上げます。

その前に、先日の成人式につきましては、おかげをもちまして無事に終えることができました。まことにありがとうございました。

それでは、資料3をごらんいただきたいと思います。

立志式につきましては、先日ご案内差し上げておりますけれども、改めてお知らせをさせていただきます。

開催日時は平成29年2月3日金曜日の午後1時の開始となります。

しおりをお開きいただきたいと思います。

まず、第1部の式典は午後1時から、そして、第2部の講演は午後2時ごろからを予定しております。

第2部講演のテーマでございますが、「夢への挑戦～立志を迎えた君たちへ！～」としております。最終ページに講師のプロフィールを掲載いたしましたので、後ほどごらんいただきたいと思います。

また、しおりには、町民憲章と教育大綱、さらに立志式の意義などを掲載しております。

特に、立志式の意義なのですが、一番下のところ、立志式についてのところ、1つ目が立志とは、2つ目がなぜ14歳なの。去年までは、成人式があるのに何でというような、どうして立志式もやるのというような、先ほど大貫委員さんのおっしゃったネガティブじゃないんですけれども、何であるのにとというような表現だったところをちょっと改めまして、これからの成人式に向かって第一歩を踏み出そうというような、そういったポジティブな表現に変えたところでございます。

それから、もう一枚、しおりのほかに席次表を挟ませていただきましたが、番号を振らせていただきました。この座席表ですが、来賓と主催者として予定している方の全体像でございまして、既に欠席のご連絡をいただいている方も何人かいらっしゃいます。今後出席者が確定いたしましたら、改めて作成いたしまして、当日お示しをさせていただきます。当日、受付が終わりましたら、文化会館応接室を控室としてご利用いただきまして、その後、私が席までご案内をさせていただきます。

簡単でございますが、立志式については以上でございます。

- （佐藤教育長） それでは質疑に入ります。
ご質疑、ご意見等がありましたらお願いいたします。
来賓の紹介についての補足はございますか。
生涯学習課長。
- （片岡生涯学習課長） こちらに掲載をさせていただいている方については、全員お名前をご紹介を、ご登壇いただいご挨拶をいただく方が本当に限られてしまいますので、皆さんお名前をご紹介させていただきますので、その場でご起立いただきまして、会釈をしていただければと思いますので、よろしくをお願いいたします。
- （佐藤教育長） 紹介についてはそういう形で、全員紹介という形をとらせていただきます。
よろしいでしょうか。
梅澤委員さん。
- （梅澤委員） 確認ですが、5番、来賓紹介というこの式次表がありますが、我々も来賓扱いという形ですか、それとも、主催者、来賓者紹介なのか。
- （佐藤教育長） 片岡課長。
- （片岡生涯学習課長） 主催者と来賓とそれぞれご紹介という形にさせていただきます。
- （梅澤委員） 式次表はこのままだ大丈夫ですか。
- （片岡生涯学習課長） そうですね、はい。

- （佐藤教育長） 席がちょっと入り組んでしまっている部分があるので、今年度はこの形で。また来年度、少しその辺のところを精査させていただいてかなというところです。

ほかにいかがでしょうか。

（発言する者なし）

- （佐藤教育長） 大貫委員さん、初めてだと思いますけれども、いかがですか。何か気がつかれたことございませんか。

- （大貫委員） 特にないと思います。

成人式との関係で、これがあって成人式があるというので、よく捉えていた成人の人もいましたよね。これがあって、それで、さらに成人式って。何で成人式があるのに、これやるのっていう子ももちろんいるとは思いますが、本当に立志式からここまでっていう、1つの山を乗り越えたみたいなことを言っていた成人がいましたね。いいと思いますよ。

- （佐藤教育長） ほかに、よろしいでしょうか。

それでは、立志式についてはご了承願いたいと思います。

それでは、日程第3の協議事項については、以上とさせていただきます。

◎日程第4

- （佐藤教育長） 日程第4、その他を議題といたします。

初めに、東日本大震災に係る児童・生徒のいじめ問題の実態等についての説明をお願いします。

指導室長。

- （佐野指導室長兼教育開発センター所長） 既にマスコミ等で連日報道されておりましたが、横浜市等々で起きました、いわゆる「原発避難いじめ」という言葉が最近つくられたようですけれども、東日本大震災によって被災した児童・生徒がいじめを受けてしまうということが、大きく報道され続けておりました。

それを受けまして、文部科学省から通知がまいりまして、町として対応したことのご報告をさせていただきたいと思います。

まず、資料4でございます。文部科学省から来ました東日本大震災により被災した児童・生徒を受け入れる学校の対応についてという通知文です。

今、平成28年5月1日現在で、避難をしている児童・生徒は1万7,644人いるそうです。愛川町には3人おります。そうした中で、文科から裏面のような対応依頼がございました。

1点目、学校において在籍する被災児童・生徒へのいじめの有無等の確認。これにつきましては、本町におきましては、3つの観点から確認を各学校に依頼をしました。

1点目が、担任及びかかわりのある全教員による観察による見立て、2点目が、アンケート調査を定期的に行っておりますので、アンケート調査による確認、3点目が、本人への面談による聞き取り、その3つによって、いじめがないか、またいじめに至らないまでも差別等を受けていないか、その確認をさせていただきました。幸いなことに、3人ともそのような回答をするような嫌な思いをしているということは全くないということで、確認がとれました。

2点目です。被災児童・生徒に対する格別の配慮等というところですが、これにつきましても、本町におきましては、定期的に、学期に一度ぐらいスクールカウンセラーによるカウンセリング等々を行ってきております。そうした中、特段今問題となる不安や悩みというものは確認されておられません。

3点目、被災児童・生徒に対する相談窓口の周知。なかなか言いづらいことも、電話等で第三者に話すのであれば相談しやすいということもあるかと思っておりますので、ここに記載されているSOSダイヤルの番号、これを知らせるチラシみたいなものがございますので、それを、学校を通じて本人に渡すという形もとらせていただきました。

今回のこの件を受けまして、児童・生徒にかかわる指導主事、また主幹課長、さらには教育長、それぞれの臨時の会議がございました。

最後のページになりますが、その臨時の県・市町村教育委員会教育長会議の結果を受けたものが、県から先日届きました。

まず1つ目ですけれども、今回の事案にかかる対応として、次の5項目を県・市町村教育委員会教育長の申し合わせの項目として取りまとめたと書いてございます。ここに書いてある5点につきまして、さらに今後具体的な取り組み方法について、県と市町村教育委員会で協議し、実施していくこととしたとなっております。この内容につきましては、あす、校長会がございまして、各学校長等にここの内容を周知するとともに、ここに書いてある内容を具体的に組み込んでいきたいと考えております。

また、今回この被災を受けた児童・生徒を対象にということになっておりますけれども、それにかかわらず、全ての児童・生徒に対するいじめの未然防止、早期発見、早期対応、それについても引き続き取り組んでいきたいと考えているところでございます。

以上、現状の報告ということでお伝え申し上げます。

○（佐藤教育長） それでは質疑に入ります。

ご質疑、ご意見等がありましたらお願いいたします。

（発言する者なし）

○（佐藤教育長） よろしいでしょうか。

それでは、東日本大震災に係る児童・生徒のいじめ問題の実態等についての件については、ご了承を願います。

次に、かながわ駅伝競走大会についての説明をお願いします。

スポーツ・文化振興課長。

○（松川スポーツ・文化振興課長） それでは、まず、かながわ駅伝のお話の前に、前回の愛川町一周駅伝競走大会、こちらも、教育委員の皆様にご意見、ご提言をいただきながら進めることができまして、水面下の問題は多々あるものの、おおむね事務局の想定の範囲内での時間、時刻により、駅伝大会が円滑に進んだということ、この場を借りて御礼申し上げたいと思います。ありがとうございました。

71回を迎えます神奈川県各市町村対抗かながわ駅伝競走大会でございますけれども、今年度は2月12日日曜日に開催されます。51.5キロメートルを7区間の選手により、たすきがりレーされます。

愛川町に関しましては、7ページをごらんいただきますと、おおむね通過時間が10時30分過ぎから11時前と、この時間帯に田代地域から半原地域を通過する予定となっております、皆さま方におかれましては、お練り合わせの上、応援、ご声援いただければというふうをお願いしたいものでございます。

なお、選手につきましては、8ページ、最後のページでございますけれども、町一周駅伝競走大会で活躍された各選手、特に細野区でアンカー、すばらしい走りを見せました、箱根駅伝競走大会参加の荻田君につきましても注目されるところでありまして、何とか町村の部の首位を奪還ということで、監督、選手一同頑張っているところでございます。

説明につきましては以上でございます。

○（佐藤教育長） それでは、質問等がございましたらお願いいたします。

（発言する者なし）

○（佐藤教育長） 去年は、ちょうど雨の中のスタートということでちょっと大変だったんですけれども、少々雨が降っても中止になりませんので、ことしは天候に恵まれるといいなと思います。

よろしいでしょうか。

(「はい」との声あり)

- (佐藤教育長) 特に質問等がないようでございますので、かながわ駅伝競走大会についてはご了承願います。

本日の案件につきましては全て終了いたしました。各委員さんからご意見、ご感想等がありましたらお願いいたします。

(発言する者なし)

- (佐藤教育長) よろしいでしょうか。
それでは、事務局、何かございますか。
- (山田教育総務課長) 特にございません。
- (佐藤教育長) それでは、以上で1月の定例会の議事日程が全て終了いたしましたので閉会としたいと思います。ご異議ございませんか。

(「異議なし」との声あり)

- (佐藤教育長) ご異議ないものと認めます。
よって、1月の定例会を閉会といたします。
大変お疲れさまでございました。
それでは、次回の教育委員会定例会の日程でございますが、平成29年2月27日月曜日、午後2時から201会議室、この場所で行います。よろしくお願いいたします。

愛川町教育委員会会議規則第17条第2項の規定により、ここに署名をいたします。

平成29年2月27日

教育委員会教育長

佐藤 照明

教育委員会

教育長職務代理者

平田 明美

教育委員

榮利 隆一

教育委員

梅澤 秋久

教育委員

大貫 洋

調整職員

馬場 貴宏